

グローバル通信3月号

外務省地方連携推進室

外務省地方連携推進室
運営ホームページ
[グローバル外交ネット](#)を
ご覧ください!!



令和6年度地域の魅力発信セミナーの開催



プレゼンテーションの様子
(左上から、堺市、沖縄県、日光市、上勝町)

各ブースでの外交団等の様子
(左上から、堺市、沖縄県、日光市、上勝町)

1月20日、外務省は大阪府堺市、沖縄県、栃木県日光市及び徳島県上勝町との共催で、令和6年度地域の魅力発信セミナーを都内で実施し、駐日外交団他約90名が参加しました。各地方自治体は、地域の産業観光、地元産品等についてプレゼンテーションを行い、その後各ブースでの展示やステージパフォーマンス等を通じて、各地域の多様な魅力を紹介しました。

[【令和6年度地域の魅力発信セミナーの開催】の詳細](#)

鹿児島・パース50周年 おはら節とパース音頭



第10回パース日本祭会場内のやぐらステージで踊る参加者たち



鹿児島市代表団が訪問中、パース市庁舎に映し出された日の丸



おはら祭でおはら節を踊る両市長

鹿

鹿児島市と西オーストラリア州パース市は、それぞれ南北緯32度に位置することをきっかけに交流が始まり、2024年に姉妹都市提携50周年を迎えました。本稿では、パース日本祭りや両市長がお互いの市を訪問した様子についてご紹介します。

[【鹿児島・パース50周年 おはら節とパース音頭】の詳細](#)

ガーナと猪苗代町を結ぶ絆に寄せて



磐梯山



猪苗代町幹部との写真
(左から、渡辺昭副町長、筆者、二瓶盛一町長、宇南山忠明教育長)



野口記念館(左から、筆者、ハチ弥寿男館長)

福

島県猪苗代町は、ガーナにて黄熱病研究を行い同病気で亡くなった野口英世博士の出身地であることから、東京オリンピック2020大会のガーナ選手団のホストタウンとして受け入れを行うとともに、ガーナから農業実習生を受け入れる等、ガーナとの交流が続けられてきました。2024年11月義本駐ガーナ日本国大使は猪苗代町を訪問し、猪苗代町長をはじめ町の関係者と両国の交流のさらなる発展に向けた議論を行いました。

[【ガーナと猪苗代町を結ぶ絆に寄せて】の詳細](#)

冬の必需品「土鍋」で繋がる三重県とジンバブエ



萬古焼土鍋



筆者、荒木田公郎料理人、大統領顧問



一見三重県知事との面談と
熊本理事長より土鍋製造現場のご案内

三重の「萬古焼」は、強度を増すため、ジンバブエ産ペタライトを原料に用いてきました。しかし、ペタライト鉱山会社が2022年に中国企業に買収されて以降、日本への輸出が困難となりました。山中駐ジンバブエ大使は、「土鍋外交」を実施し、ジンバブエ関係者に土鍋の重要性を伝えることで、2024年4月からペタライトの供給が再開しました。2024年12月には、三重県知事らと意見交換し、安定的な供給に向け引き続き協力していくことを約束しました。

[【冬の必需品「土鍋」で繋がる三重県とジンバブエ】の詳細](#)

発酵・長寿NAGANOの食を世界へ ～NYにて共催レセプション開催



森美樹夫大使の挨拶



日本酒ブース



公郎料理人によるオリジナルメニュー

10月29日、在ニューヨーク日本国総領事館は、長野県との共催で、「発酵・長寿NAGANOの食」をテーマにした、レセプションを開催しました。米国は、長野県加工食品の最大の輸出相手国です。当日は、現地の輸入商社や小売業者、レストラン関係者、メディアなど81名のゲストが参加しました。長野県からは、阿部知事をはじめ、10社の県内食品メーカーがニューヨークを訪れ、県の魅力を紹介しました。本稿ではその模様をお知らせします。

[【発酵・長寿NAGANOの食を世界へ～NYにて共催レセプション開催】の詳細](#)

～地方連携推進室から～

●小笠原外交実務研修員からの寄稿

[寄稿の詳細](#)

次回配信は2025年4月1日の予定です。グローバル通信に是非ご登録ください
登録は[メールマガジン「グローバル通信」](#)より「メールアドレスの登録」をクリック！
ご意見やご質問は gaimu-renkei@mofa.go.jp までお願いいたします。

